

情報通信審議会情報通信技術分科会  
IPネットワーク設備委員会  
技術検討作業班 報告骨子 概要

- 0AB～J番号を使用するIP電話の基本的事項以外の  
IP電話、新たなサービス等に関して —

平成19年12月19日

# IPネットワーク設備委員会及び 技術検討作業班の審議経過(1/2)

次世代IPネットワーク推進  
フォーラムと連携

## ○第10回 技術検討作業班(H19.4.2)

- ・ IPネットワーク設備委員会の審議経緯について
- ・ OAB~J番号を使用するIP電話の基本的事項に関する技術的条件以外の主な課題と論点について

【各構成員に対して各課題における検討項目・論点についてアンケート】

## ○第6回 IPネットワーク設備委員会(H19.4.17)

- ・ 安全・信頼性検討作業班におけるこれまでの審議を取りまとめた報告を受け、委員会報告(案)について審議を行った。
- ・ 技術検討作業班の審議経過報告を行った。

## ○第11回 技術検討作業班(H19.4.26)

- ・ 「主な検討課題(案)に対するアンケート」についての意見を踏まえ、今後の主な課題と論点について審議
- ・ 次世代IPネットワーク推進フォーラムについて

## ○第7回 IPネットワーク設備委員会(H19.5.23)

- ・ 安全・信頼性検討作業班の報告に関する意見募集の結果を踏まえ、委員会報告及び一部答申(案)を取りまとめた。

## ○第12回 技術検討作業班(H19.5.29)

- ・ 検討項目の抽出等について
- 【次世代IPネットワーク推進フォーラム 技術基準検討WG及び各SWGからの検討状況報告】

## ○第13回 技術検討作業班(H19.6.27)

- ・ ネットワークのIP化に係る動向等について

## ○第14回 技術検討作業班(H19.8.8)

- ・ 検討項目の抽出と方向性について
- 【次世代IPネットワーク推進フォーラム 技術基準検討WG及び各SWGからの検討状況報告】

# IPネットワーク設備委員会及び 技術検討作業班の審議経過(2/2)

## ○第8回 IPネットワーク設備委員会(H19.9.11)

- ・ 技術検討作業班の審議経過報告を行った。
- ・ 情報通信ネットワーク安全・信頼性基準に関する審議について、安全・信頼性検討作業班にて検討を行うこととなった。
- ・ 「IP化時代の通信端末に関する研究会」報告を受けた端末の試験方法等の審議について、技術検討作業班にて検討を行うこととなった。

## ○第15回 技術検討作業班(H19.11.22)

- ・ IPネットワーク設備の技術的条件等に関する検討状況について  
【次世代IPネットワーク推進フォーラム 技術基準検討WG及び各SWGからの検討状況報告】
- ・ OAB~J IP電話端末の試験方法について

## ○第16回 技術検討作業班(H19.12.17)

- ・ IPネットワーク設備委員会 技術検討作業班報告骨子（案）について

次世代IPネットワーク推進  
フォーラムと連携

# 技術検討作業班の審議概要について

技術検討作業班では、本年1月のOAB～J番号を使用するIP電話の基本的事項に関する技術的条件の答申後、第10～16回会合を開催して、当面の検討課題と論点、方向性等について審議を行ってきた。審議概要は以下のとおり。

## 1. 当面の検討課題

IPネットワーク設備委員会報告(平成19年1月「第7章 今後の検討課題等」)から以下のとおり。

- ◆ IP電話に関する課題
- ◆ コンテンツ配信サービスに関する課題
- ◆ 迷惑メール抑止手段に関する課題(※)
- ◆ 固定・移動シームレスサービスに関する課題
- ◆ 重要通信・緊急通報の新たな確保方法に関する課題(※)
- ◆ 端末・ネットワークとの接続に関する課題

※の項目については、第11回 技術検討作業班(H19.4.26)において、今後の社会的な動向等の状況に応じて検討を行うこととした。

## 2. 検討の基本的進め方

- ◆内外の動向や重要度、緊急性等を勘案しつつ、要求条件や具体的な検討項目の抽出、内容の検討を実施。
- ◆検討においては、技術設備面を中心に、必要に応じて関連する管理運用面等の課題を抽出し、それらについて、技術基準の在り方・技術的条件を中心にして標準化等の必要性も含めて検討。また、課題を解決すべき時期等の時間的要素も考慮。

## 3. 検討の体制

- ◆次世代IPネットワーク推進フォーラム 技術基準検討WGと連携して検討を進めてきたところ。

# 技術検討作業報告骨子概要

- 第10～16回会合において、OAB～J番号を使用するIP電話の基本的事項以外のIP電話、新たなサービス等に関し、**1. IP電話、2. コンテンツ配信サービス、3. 固定・移動シームレスサービス、4. 端末・ネットワークとの接続**について、ネットワークのIP化に伴う技術的課題及び論点、方向性を集約。また、**OAB～J-IP電話端末の試験方法**についてとりまとめ。
- IP電話に関する事項を技術的条件(案)として、残りの課題については、今後の課題等として、具体的な課題の抽出と方向性の考え方をまとめている。

## ネットワークのIP化に伴う技術的課題及び審議結果(主な項目の概要)

### 1. IP電話

- 輻輳、不正アクセス時の対応  
050-IP電話に対しても、現行の事業用電気通信設備規則の技術基準が踏襲されることが適当。
- 輻輳の抑止、波及防止のための端末機能  
050-IP電話に対しても、OAB～J-IP電話と同様、以下の機能を具備することが適当である。
  - (i) 一斉発呼(登録)の防止に必要な機能
  - (ii) 利用者からの無効呼抑止のために必要な機能
  - (iii) 自動再発信を行う端末の発信回数制限機能
- 緊急通報、重要通信の扱い方  
050-IP電話においても、現行の制度を踏襲するとともに、標準化された手順で行うことが適当。
- 発信者番号偽装対策  
050-IP電話においても、発信者番号偽装対策をとることが適当。また、携帯電話等、その他の音声伝送役務についても同様の対策を行うことが適当。等

### 2. コンテンツ配信サービス

- 基本検討モデルの明確化  
単一網におけるコンテンツ配信サーバから利用者端末までの配信区間の通信形態について、汎用的なモデルを設定した。
- 品質関連の技術課題の明確化  
コンテンツ配信サービスにおける品質関連の技術要件の明確化に向けた枠組を整理。
- 安心・安全(セキュリティ条件・運用管理面)関連の技術課題の明確化  
セキュリティ関連の技術要件、ネットワーク区間の課題要件の明確化 等

### 5. OAB～J-IP電話端末の試験方法

- 本年1月の情報通信審議会より、IP電話端末に以下の機能の具備について、一部答申。
  - (1) ネットワークと端末との遠隔切り分け機能及び総合品質測定機能
  - (2) 無効呼抑止機能
  - (3) 一斉登録に伴う輻輳回避機能
  - (4) 端末における自動再発信回数制限
  - (5) 端末のソフトウェア/ファームウェア更新機能
- 当該一部答申において検討課題とされている具体的な機能の適合を確認するための試験方法について、参照モデルを検討し、とりまとめ。

### 3. 固定・移動シームレスサービス

- サービス定義の要素とモデリング  
通信形態、メディアなどのサービス要素を整理した上で、認証、位置管理などの必要となる機能と典型的な網構成を抽出し、参照サービスをシーケンスで掲示。
- 事業者間インタフェース  
事業者間の連携によるFMCサービスへの期待や需要によっては、事業者間連携という点からのインタフェース、プロトコルの規定が必要となる可能性を提示。
- 国際標準化動向  
FMCおよびモビリティ管理に関するITU-T勧告の調査 等

### 4. 端末・ネットワークとの接続

- 責任分界点の切り分け方法  
端末と網の責任分界点のうち、技術基準に関連性のあるものを、「責任区分点」及び「切り離し点」として整理し、モデルを検討。
- 端末と次世代IPネットワークの相互発展シナリオ  
相互発展について、「端末と網が連携して、新たなサービス・価値を提供する」という観点から、情勢を注視しながら、引き続き検討。
- ライフライン性  
狭義の「ライフライン性」である「重要通信の確保」と「緊急通報の実現」と「新規サービスから見た要求機能の検討」について検討を行った結果、新たに提案すべき機能は現状なし。 等